

## 前回会議の際の意見に対する回答

No.	質問者	資料番号 及び頁数	質問	回答
1	内野委員	資料1 51ページ	<p>【今後の課題・問題点】 6番目の○「認知症初期集中支援チーム」への相談件数が少ない状況にあります</p> <p>周知や活用法、あり方についての検討が必要なのではないでしょうか？ 何故に少ない状況なのでしょう？</p>	<p>認知症初期集中チームの周知や活用法、あり方については、平成29年度の発足当時より認知症対策検討会の中に設置されている「支援チーム検討委員会」の中で議論しています。</p> <p>認知症対策検討会において、相談件数が少ないことが指摘されており、その対応策として関係機関に対する研修会や一般市民に対する講演会、市のホームページにおいて周知しているところです。本市の初期集中支援チームへの相談は、そのほとんどが地域包括支援センターによるものですが、令和元年度の相談件数は11件のうち7件が支援件数でした。</p> <p>地域包括支援センターにおいて、相談を受ける方の中で、認知症や認知症疑いの相談は全体の10%となっている一方で、認知症が進行した状態で支援につながるケースも多いことから、本計画にもありますように早期発見・早期対応に注力します。</p>
2	内野委員	資料1 63ページ	<p>【第8期の方針】 2つ目の・生活支援コーディネーターや地域包括支援センターと連携を図り、住民主体の生活援助活動の促進及び地域住民への普及啓発に努めます</p> <p>地域、自治協との協働が不可欠かと思いたすので、コミュニティ・協働推進課との共有協働はどこで示されますか？</p>	<p>コミュニティ・協働推進課との連携については、市（行政）内部の連携は前提であるため、各部署間の共有・協働状況を計画等に示すことはしません。今後も関係部署との適時的確な情報共有に努め、連携体制の充実を図ります。</p>